

令和5年度 釜利谷高等学校 不祥事ゼロプログラムの実施状況

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚を持ち、法令遵守の立場で県民の信頼に応えるべく行動できる体制づくりを広く図る。	○職員啓発資料等をもとに職場研修を実施し、教育公務員としての自覚を促し、自覚とモラルの向上、法令順守等について徹底して行動した。 ○職員相互及び管理監督者とのコミュニケーションを大切にした職場環境づくりを進めた。
職場のハラスメントの防止	職員の人権を尊重した態度で接し、パワハラやセクハラ行為の発生を未然に防止する。	○職員啓発資料等を参考にし、ハラスメントに関する理解を深めるとともに、人権意識の向上を図った。 ○職員参加型の研修を行い、ハラスメント防止について職員が主体的に取り組む機会を設けた。
生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	生徒の人権を尊重した態度で接し、わいせつ・セクハラ行為発生を未然に防止する。	○職員啓発資料や事例の共有等で、生徒へのわいせつ・セクハラに関する不祥事防止を周知するとともに、生徒への人権意識の向上を図った。
体罰・不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、複数で指導にあたり、体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	○職員啓発資料等を参考にし、生徒の人権侵害に関する不祥事防止を周知するとともに、生徒の人権を尊重する意識の向上を図った。
人権を尊重した教育環境整備	本校生徒の理解に努め、人権に配慮した支援体制を構築する。	○職員啓発資料等を参考にし、生徒の人権侵害に関する不祥事防止を周知するとともに、人権意識の向上を図った。 ○本校生徒の状況を把握し、常に人権に配慮をした言動に努め、個に即して適切に複数で対応を行った。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜における公平・公正さを意識し、事故・不祥事のない入学者選抜業務を遂行する。	○職員全員で点検体制や業務マニュアルを確認し、入選業務に関する職員の共通理解を徹底した。 ○職員啓発資料等を参考にし、過去の事故事案について職員に周知し事故の未然防止に努めた。 ○成績処理、調査書・推薦書作成等は複数回の点検体制を徹底した。
個人情報などの管理・情報セキュリティ対策	個人情報を適切に取り扱い、紛失・流失を防止する。	○個人情報データの取扱ルールを遵守し、職員の情報セキュリティ意識の向上を図り、共有フォルダや暗号化サーバーの使用を徹底した。 ○個人情報等を含む電子データには必ずパスワードを設定した。
業務執行体制の確保	円滑な業務執行にむけて、情報の共有化を図る。	○サーバーやフォルダを適切に運用し、業務文書管理体制を確保した。 ○起案文書点検を複数で行い、決裁文書はまとめて保管した。

財務事務等の適正 執行	不適正経理処理対策 を徹底し、公正な予算 編成と適正な予算執行 を行う。	○公費・私費の適正管理に努め、私費会計基準に基づ いた適正な会計処理を行った。 ○現金は必ず金庫保管とし、週1回は銀行で出入金を 行った。
----------------	---	--

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

職員会議や朝の打ち合わせ等で神奈川県教育委員会不祥事防止職員啓発・点検資料や綱紀保持の通知等の内容を職員に周知するとともに、不祥事防止会議及び不祥事防止研修会を毎月実施した。研修会を通して事故・不祥事の事例を自分ごととして当事者意識を持って取り組めるようになってきているが、不祥事の内容によってはまだ難しい点も見受けられる。

今後、同僚性をさらに強化し、自身で不祥事を起こさないだけでなく、職場から不祥事を出さないような意識を持った風通しの良い職場づくりに努める。